

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2000-17230 (P2000-17230A)
 【公開日】平成 12 年 1 月 18 日 (2000.1.18)
 【出願番号】特願 平 10-187766
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 D 183/04

B 0 1 J 21/06

B 0 1 J 35/02

【F I】

C 0 9 D 183/04

B 0 1 J 21/06 M

B 0 1 J 35/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 光触媒作用を有する物質、(B) 重合性シリコーン系被膜形成組成物、(C) 有機溶媒及び水を必須成分とする光触媒含有コーティング組成物。

【請求項 2】

—
 (B) 重合性シリコーン系被膜形成組成物が、シロキサン結合を主骨格としカチオン重合性部位を有するシリコーン化合物と、カチオン重合開始剤を必須成分とする組成物である請求項 1 に記載の光触媒含有コーティング組成物。

【請求項 3】

—
 (B) 重合性シリコーン系被膜形成組成物が、下記一般式 (1) で示されるポリオルガノシロキサンプレポリマー (B - 1) と、下記一般式 (2) で示されるシラン化合物の 1 種又は 2 種以上を含むシランモノマー (B - 2) とをブレンドしたシリコーン系被膜形成組成物、

$[R_{4-n}SiO_{n/2}]_m$ (1)

$R'_xSi(OR'')_y$ (2)

(式中、R 及び R ' は炭素数 1 ~ 10 の置換または非置換の炭化水素基、R '' は炭素数 1 ~ 4 の炭化水素基または水素原子を示す。また、n は 0 ~ 3 のいずれかの整数、m は正の整数であり、x は 0 ~ 3 のいずれかの整数、y は 1 ~ 4 のいずれかの整数であり、x + y = 4 である。) 及び光酸発生剤 (B - 3) とを必須成分とする組成物である請求項 1 に記載の光触媒含有コーティング組成物。

【請求項 4】

重合性シリコーン系被膜形成組成物 (B) の、光触媒作用を有する物質 (A) に対する割合が 10 ~ 100 重量 % であり、水及び溶剤を除いた固形分濃度が 1 ~ 40 重量 % であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の光触媒含有コーティング組成物。

【請求項 5】

光触媒作用を有する物質（A）が、二酸化チタンであることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の光触媒含有コーティング組成物。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の光触媒含有コーティング組成物を、紫外線、紫外線を含む屋外光、室内照明、または電子線、X 線等の放射線により硬化することを特徴とする塗膜の形成方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の光触媒含有コーティング組成物を塗布した基材

【請求項 8】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の光触媒含有コーティング組成物を基材に塗布して形成した塗布膜。

【請求項 9】

基材が、プラスチック、ガラス、金属、紙、木材、セラミックス、陶磁器、塗装面である請求項 7 に記載の基材。

【請求項 10】

基材が、プラスチック、ガラス、金属、紙、木材、セラミックス、陶磁器、塗装面である請求項 8 に記載の塗布膜。